

塩谷郡市医師会だより

平成15(2003)年9月18日 第30号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野 1319 番地 3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

平成15年度第2回役員会報告

平成15年9月8日(月)午後6時30分から
医師会事務室にて開催されました。

出席役員：尾形会長・大野副会長・西川副会長
池田・山田・中川・加藤・小林祐・二井谷・小林正
大和田・尾形新・川原事務長



議題と協議内容について報告いたします。

協議事項

■医療機能分化推進事業の現況と次年度の計画
塩谷郡市1市4町の住民3,000名を無作為で抽出し
アンケート用紙(アンケート内容はHPに掲載)を
配布しました。

次年度は塩谷総合病院と黒須病院に病診連携室を
設置しインターネットを介して地区内診療所との接
続を実現します。

■塩谷郡市医療圏の救急医療

(休日当番医・小児救急など)

塩谷広域行政組合消防本部と塩谷郡市医師会との 話し合いの報告

日 時：平成15年7月14日(月)午後6時30分

場 所：氏家町保健センター会議室

出席者：

塩谷広域行政組合消防本部

片岡三佳(消防長) 村上芳忠(警防課長)

大門市郎(主幹) 救急救命士2名

塩谷郡市医師会

尾形会長、西川副会長、木内(矢板)根本(氏家)

阿久津(高根沢) 尾形(塩谷) 佐野(喜連川)
塩谷総合病院

奥山(院長) 松本(事務長) 坂主(看護部長)
黒須病院

黒須(会長) 金澤(院長) 三品(名誉院長)

栗原(事務長) 斉藤(総婦長)

審議事項及び議決事項

第1号議案 メディカルコントロール体制 について(病院前救護)

イ) 村上課長が配布した会議資料に基づいて「病院
前救護体制検討部会第1回地域分科会会議結果」
「検証票等各様式」、「救命士が行う除細動のプロト
コール」、「救急業務体制」の順に説明しました。
「検証票等各様式」について、尾形新先生から質問
があり、村上課長が答弁しました。

ロ) 救急救命士が4月~6月までに取り扱った事例
の説明と、根本先生が氏家町で取り扱った「検案書」
「死亡診断書」についての説明がありました。

第2号議案 塩谷広域行政地域内の救急の現状 について

イ) 村上課長から前回の意見交換後の概要の説明が
あり、改善された具体的な資料は次回までに用意
してください。

その他

イ) 5月21日、22日に実施されたヘリコプター試乗
について、黒須病院の市村婦長より、塩谷郡内から
ではあまりメリットがない、との感想でした。

また、塩谷総合病院の奥山院長から、東京ぐらいで
いとメリットがないとの意見も出ました。

ロ) 先日下野新聞に栃木県内の小児救急体制につい
ての記事が掲載されており、塩谷総合病院の奥山院
長は、公的な資金援助があれば引き受けても良いと
との意見でした。

小児救急医療体制整備検討会の報告

日 時：平成15年8月21日(木)午後6時30分

場 所：医師会事務室

塩谷郡市医師会ホームページ	広報委員会編集部	医師会事務局
U R L http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/	尾形新一郎 ogata@o-ga-ta.or.jp	川原 shioya@triton.ocn.ne.jp
M L shioya-ml@tochigi-med.or.jp		坂和 shioya@tochigi-med.or.jp

出席者：尾形会長、西川、軽部、仲澤、谷口、植木
小林正、奥山、金澤、黒須
塩谷地区における小児救急医療の現状
矢板市

休日は9時～17時の輪番制

以前は内科、外科の2医療体制で行っていたが、
患者が少ないため1医療体制に変更
夜間患者が少ないため17時迄に短縮
17時以降は塩谷総合病院で対応

氏家町

休日は9時～12時、14時～17時、19時～21時の
輪番制

高根沢町

休日は9時～21時の輪番制

塩谷町

休日は9時～19時の輪番制。5医療機関で行って
おり、大変である

喜連川町

休日は地元4医療機関が2ヶ月1回の輪番制
その他の休日は矢板市、氏家町に依頼

平日夜間においてはいずれの市町村においても、
きちんとした体制はしいておらず、電話の問い合わ
せに対応できれば診療を行っています。

塩谷総合病院

小児科常勤2名、非常勤2名

小児科医は当直を行わず、
夜間は内科の当直医が小児を診療。必要があれば小児科医を呼ぶ。
土日は小児科医が9時～11時、15時～17時に
外来を行う

黒須病院

小児科医は常勤1名、非常勤2名

夜間は小児科医がおらず、患者の了解を求めたう
えで外科医が対応
考えられる小児医療体制

a. センター方式（基幹病院併設が望ましい）

【問題点】

- ・小児科医の絶対数の不足
- ・地域が広いと遠方の医師の協力が得られにくい
- ・二次救急医療が整っている必要がある

b. 休日輪番制の平日夜間帯への延長

【問題点】

- ・毎日場所が変わるので患者が利用しにくい
- ・地域が広いので遠方の時利用しにくい
- ・夜間の職員の確保
- ・休日当番でも17時以降の患者は少なく17時ま
でにした経緯がある（矢板）

c. 基幹病院の夜間診療に開業小児科医が参加する

【問題点】

- ・病院勤務医と開業医との連携がうまくいくか
- ・開業医にとって慣れないシステムでの診療は不
安である

- ・基幹病院に遠方の開業医の協力が得にくい

d. 基幹病院夜間スタッフの増員

【問題点】

- ・大学病院も小児科医の絶対数が不足しており協
力を得るのは難しい

* 県に対する意見 *

センター方式を考えるなら県がイニシアチブを取
るべきであり、開業医の時間外診療に補助金を考え
てほしいとの要望でした。翌週8月26日に県の現地
調査が開かれ、尾形会長、軽部、植木先生、奥山（塩
谷総合病院）が出席し塩谷郡の意見として県に報告
しました。

■次期衆議院・衆議院選挙の対応

平成15年8月21日付で、西川公也氏、森山まゆ
み氏、渡辺喜美氏、小林守氏、楨昌三氏、蓮実進氏
の6名に対し、9月6日を期限とし公開質問状を送
付しました。回答は同封の資料、または当医師会ホ
ームページをご参照ください。

■秋の郡市・大学医師会正副会長懇談会の協議・提案

- ・ウイルス性肝炎の検診について
- ・SARSの受入態勢について

■県医師会代議員会の質問・提案

医療廃棄物適正集中処理施設建設については、郡
市医師会の総意を表明する必要があるのでは、との
意見がでたので、代議員で検討することとなりました。

■栃木県医師会雑誌投稿について

特集「病診連携」については尾形会長、郡市医
師会だよりは山田先生が担当することになりました。
その他、意見投稿、会員の広場「写真、絵画な
ど」医会の窓などの記事を募集しています。会員の
皆様の投稿をお願いいたします。締め切りは9月30
日です。

✚ 報告事項

医師会事務職員の勤務時間延長

8月1日より午後3時まで勤務しています。

その他

当医師会と地域報道関係者との会合を企画してい
ます。

学校保健法施行規則の一部改正に伴う結核検診精
密検査の料金統一について

（県医師会の回答）

精密検査の負担については市町村教育委員会が負担
することとなっていますが、請求は各医療機関から
となっています。なお、料金の統一は難しいと思わ
れます。

平成 15 年度郡市医師会交付金（事務謝金）について
県医師会より 8 月 22 日付けにて 94,000 円交付され
ました。

学校結核検診の二次検診でツ反陰性となった場合
の取り扱いについて

厚生科学審議会感染症分科会結核部会の提言によ
って結核対策の大幅な見直しが答申され、その中
で小・中学校での B C G 接種の廃止とツベルクリ
ン反応検査による健康診断の廃止が決定しました。
これに伴いツベルクリン反応陰性であっても、B
C G 接種は行わず終了となるとのことです。

基本検診後の二次検診の結果連絡票の文書請求について
現時点では診察料に含まれると解釈しています。

介護保険委員会報告

小林医院（喜連川町） 小林 正樹

日 時：6 月 23 日（土）午後 6 時 30 分

場 所：医師会事務所

出席者：尾形会長、西、片岡、尾形新、小林（正）

協議事項

1) 主治医意見書記載不備について

尾形会長、県医師会からの依頼文書の「適正な主治
医意見書作成のお願い」にも拘らず、依然として今
だ記載漏れや特記事項記載なしの意見書が散見され
ます。対策として、喜連川町介護認定審査会で 6 月
より実施している「意見書不備」と判定した場合に
主治医に送付する文書について協議検討し、1 市 4
町の広域で実施した方がより効果的で、積極的に推
進すべきとの意見で全員一致しました。

2) 一次判定ソフト改訂に伴う認定審査の問題点

平成 15 年 4 月～5 月の 2 ケつき間の検証

a. 一次判定の変更率

氏家町 27.6%（旧判定ソフト 37.1%）

高根沢町 20.6%（45～50%）塩谷町 30%（45～50%）

喜連川町 22%（45%）と旧判定ソフトに比し低率で、
全体として推定精度は向上している（6 ケ月単位で
検証必要）しかし、旧判定ソフト同様に自立、要支
援、要介護 1 の区分の曖昧さの問題は残されたまま
です。

b. 動ける痴呆の一次判定は改善されたか

一次判定ソフト改訂版の運動能力の低下していない
痴呆性高齢者の指標に該当した（チェックが入った）
件数は、氏家町 6 件（内 2 ケ所チェック 1 の件）高
根沢町 5 件（1 件）喜連川町 5 件（1 件）と、旧判
定ソフトより精度は向上しております。しかし、該
当しない（チェックされない）ケースもかなり多く
より慎重な二次判定が求められています。

事務局よりお知らせ

主治医研修会のお知らせ

日 時：平成 15 年 11 月 7 日（金）18 時 30 分～

場 所：氏家町保健センター集団指導室

協 議：介護保険委員会報告

講 演：「介護保険下の地域医療」

- 在宅医療とどのようにかわるのか -

講 師：おやま城北クリニック院長

太 田 秀 樹 先 生

日本医師会認定産業医認定制度医学研修会

日 時：平成 15 年 10 月 16 日（木）18 時 30 分から

場 所：氏家町保健センター集団指導室

講 演：「酸化エチレンガス滅菌器の暴露対策」

「突然死を防ぐには一心臓病と突然死」

単 位 数：認定産業医 生涯研修（更新研修・専門研修）

3 単位

受講定員：20 名

県医師会主催

産業医ケースカンファレンス研修会のお知らせ

日 時：平成 15 年 11 月 20 日（木）19 時～21 時まで

場 所：氏家町保健センター集団指導室

テーマ：「小規模事業所の産業保健」

講 師：栃木県産業保健推進センター相談員ほか

グループごとにアドバイザーとして参加

します

単位数：認定産業医 生涯研修（実地研修）2 単位

非認定医 基礎研修（実地研修）2 単位